



# 花の風だより

第44号  
令和4年6月号  
夏

## 宇都宮市緑化ボランティア通信

世間では、相変わらず新型コロナの収束も見えず、また、ロシアのウクライナ侵攻と、連日テレビで放送されていて、気持ちも暗くなる日々ですが、植物界では季節の移ろいをしっかりと受け止め、次々と花を咲かせ、心の安らぎと癒しを与えてくれます。これから夏に向けてもコロナ・暑さ対策をしながら、緑化ボランティアの皆様、花壇の手入れを頑張りましょう。

緑化ボランティア活動  
錦地域コミュニティセンター

はじめまして



令和4年3月28日(火)に錦地域コミュニティセンターでの植栽活動に参加しました。

こちらのセンターでは花壇が6つありますが、これまではセンターの職員さんが1人で植栽や維持管理をされており、とても大変だったとのこと。



その状況を知った緑化ボランティアの一人が市役所景観みどり課に相談し、今回の活動に繋がりました。

参加した緑化ボランティアは私を含めて5名おり、センターが用意してくれたパンジーやビオラをご自身のレイアウトで植栽し、とても可愛い花壇ができあがりました。

今後は維持管理や植栽など、センターでの活動に励んでいきたいと思っております。



はじめまして

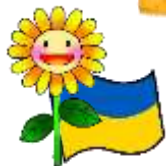
緑化ボランティア活動報告  
花野会

3月よりロシア軍によるウクライナ侵攻が始まり、毎日流れる残酷なニュースに心が痛みます。

そのような中、私達「花野会」ではウクライナを花で支援したいと考え、ウクライナの国旗を付けたプランター作りをしました。一人でも平和への思いが繋がってくれるといいなと考え始めた活動ですが、通りすがりの方が「ウクライナの国旗ですね」と声をかけてくれるので、とても嬉しいです。

ウクライナの国花はひまわりです。

一日でも早く、ウクライナの人々にひまわりのような笑顔が戻りますよう祈っています。



Ukraine





うつのみや遺跡の広場



## ニッコウキスゲの散策



5月10日、見事な五月晴れの日、編集委員メンバー4人でニッコウキスゲの開花状況を見分してきました。

遺跡広場の西側斜面に約1万株のニッコウキスゲが自生しておりますが、今日の段階では三分咲きというところでしょうか。5月下旬が満開と予想されます。

宇都宮市では、昭和57年の遺跡発掘調査で、縄文期前期時代の大規模な集落を発見し、復元と保存に努めております。

資料館も無料開放されており、今の季節おすすめの散策コースといえます。



ニッコウキスゲの開花状況



資料館一部



遺跡集落の家屋



散策を終えて記念写真



## ステキな お庭訪問

リンデン



東埜田 M様宅



道路から少し入った所のお宅です。時々通る道から、明るく植えられたプランターや鉢植えの花々が目を引きつけていました。

リンデンの花言葉は【夫婦愛】。  
シュベルト作曲の「リンデンバウム」  
が有名ですね。



お会いした時うと、病気療養中の花好きなお主人のため、花を育て始めたということでした。写真を撮らせてもらうため後日訪ねると、ご主人が亡くなられたと聞きました。奥様の心優しい思いは伝わったことをお伝えしました。





## 種類豊富な花の背景を巡る

### ～第二章 遺伝的多様性とは？～



今回は『遺伝的多様性』という観点に触れたいと思います。

これはかなり古くからある生物学的概念です。

ある1つの種の中での遺伝子の多様性(※1)を意味していますが、前回お話しした品種改良(=育種)が進むにつれ、近年では野生種にあった遺伝的多様性が狭まってきています。分かりやすく言い換えると、遺伝子の種類が少なくなっているのです。

※1 多様性：幅広く性質の異なる群が存在すること。性質に類似性のある群が形成される点  
が特徴で、単純に「いろいろある」こととは異なる。



この現象は現代品種ではより顕著になり、1品種=1遺伝子型(遺伝子の組合せタイプ)に近い状態になっています。平たく言うと、ある特定の有名品種ばかりが栽培される面積が増えている、という状況です。例をあげると、イネのコシヒカリやブドウの巨峰等がその一例です。

この様に均一性が求められる要因としては流通市場の生産物規格があります。

また、生産者にとっても栽培特性や品質特性が均一的に安定した同一品種を大規模に栽培した方が、作業が容易になり市場ニーズにも応えやすくなります。



しかしながら、このような“遺伝的に均一な集団”は、植物にとって不良な環境(気象・病虫害等)に対する耐性を低くし(遺伝的脆弱性)、生き延びる可能性を低下させる要因となります。

「多様性の無い集団は滅亡する」というのが進化の歴史の中でよく言われますが、古くは日本ではイネのいもち病の例、海外でもアイルランドのジャガイモ飢饉やトウモロコシのごま葉枯病被害等がありました。

従って、色々な種類が混在している多様性に富んだ状態の方が潜在的なリスクからの回避に繋がり、ひいては生態系のバランスが取れるという事になります。

人間世界では近年、“多様性=ダイバーシティ”という言葉が喧伝<sup>けんてん</sup>されています。

ヒトは体の大きさや肌の色、顔の形など違いがあります。それは個人の遺伝子が他人の遺伝子と異なっているためです。

上記の通り生物学の世界では、遺伝的多様性は古典的な考えですが、人間世界においても“十人十色”の思想で、まずは相手の個性を尊重する所からスタートして、多様性が普通に受容される社会になっていくといいなと個人的には思います。



次回は別の観点から、品種改良(遺伝子型×環境相互作用)の話をしていきます。



# 緑化ボランティア活動予定表 (6・7・8月)

ゆり

| 活動場所・集合場所            | 集合時間  | 6月                      | 7月         | 8月         | 曜日                           |
|----------------------|-------|-------------------------|------------|------------|------------------------------|
| 【釜川プロムナード】<br>ふれあい広場 | 7時30分 | 5日<br>19日               | 3日<br>17日  | 7日         | 毎月第1日曜日                      |
| 【サン・アピリティーズ】<br>玄関前  | 9時    | 1日<br>15日               | 6日<br>20日  | 3日<br>17日  | 毎月第1・第3水曜日                   |
| 【JR宇都宮駅】<br>東口プランター  | 9時30分 | 2日                      | 7日         | 4日         | 毎月第1木曜日<br>6月の活動は植栽です。       |
| 【河内図書館】<br>玄関前       | 9時30分 | 2日<br>16日               | 7日<br>21日  | 4日<br>18日  | 毎月第1・第3木曜日                   |
| 【平出工業団地公園】<br>小花壇    | 9時30分 | 9日                      | 14日        | 15日<br>月曜日 | 毎月第2木曜日<br>6月の活動は植栽です。       |
|                      |       | ※小花壇の8月の活動は15日月曜日になります。 |            |            |                              |
| 【南図書館】<br>北側車庫前      | 9時    | 9日<br>23日               | 14日<br>28日 | 11日<br>25日 | 毎月第2・第4木曜日                   |
| 【平出工業団地公園】<br>大花壇    | 9時30分 | 23日                     | 28日        | 25日        | 毎月第4木曜日<br>6月の活動は植栽です。       |
| 【宇都宮駅東公園】<br>花壇前     | 9時    | 17日                     | 15日        | 19日        | 6月の駅東公園は<br>植栽です。<br>毎月第3金曜日 |
| 【東図書館】<br>中庭花壇前      | 10時   |                         |            |            |                              |
| 【市庁舎】<br>市役所玄関前      | 9時30分 | 24日                     | 22日        | 26日        | 毎月第4金曜日                      |



◎ 川風に当たりながら花壇の手入れ、気持ちが良いのでつい無理をしてしまいます。身体と相談しながら頑張っています。(E)

◎ 久しぶりに昨秋、大きな鉢2鉢に、パステルカラーとシックな赤色のチューリップをそれぞれ15球ずつ植栽をしました。今年4月に28本の花が咲き、我が家の庭を明るくしてくれました。5月に入り、花も終わり、花がらを摘み取り、お礼肥えを少しやり、その後少しずつ葉が枯れてきましたので、下旬には球根を掘り上げようかと思っています。(ナヨ)

◎ 今年は4月上旬にお花見を兼ねたルーチンの週末ウォーキングを楽しみました。

まず栃木県農業試験場本場前道路の桜並木が見事でした。その後、豊郷まほろばの道沿いに咲いている水芭蕉は年々株が大きくなり見応えがありました。すぐ傍の法面に群生しているカタクリは、今年は花数が少なかったです。更に進んで宇都宮美術館を過ぎて帝京大学キャンパス内の桜群は素晴らしかったです。最後は瓦塚古墳の隣地に咲く水仙と桜は360度花に囲まれて圧巻の眺めでした。

毎年、同じ場所を定点観測しているので来年もこの時期が楽しみです。(真田)

◎ 今年はいつもより少し遅れて田んぼに水が引かれ田植えが始まりました。この季節が待ち遠しく、田植えが終わったこの風景は私の一番好きで穏やかな平和と生命力を感じるのです。コロナ禍は当分続きそうなのに、ロシアのウクライナ侵略が始まりウクライナ人は二重の戦いとなっております。一日も早くウクライナの勝利で戦争が終わり平和が訪れることを祈る気持ちです。(八ちゃん)

